

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

千葉市では、令和7年度全国学力・学習状況調査結果を公表しますので、お知らせします。

1 公表日および公表方法

(1) 公表日

令和7年10月21日（火）

(2) 公表方法

市ホームページで公開

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>



2 令和7年度全国学力・学習状況調査の概要

(1) 調査目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③上記の①と②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

令和7年4月17日（木）

(3) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数

小学校 107校 第6学年児童約7,300人
中学校・中等教育学校 54校 第3学年生徒約6,700人

(4) 調査内容

ア 教科に関する調査

小学校 国語・算数・理科
中学校 国語・数学・理科

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

- ①児童生徒に対する調査（小学校80項目・中学校88項目）
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査
- ②学校に対する調査（小学校91項目・中学校91項目）
指導方法に関する取り組みや、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率（IRT スコア）と千葉市全体の結果（別添概要の p 1）

小学校 第 6 学年	国語	算数	理科
	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)
千葉市	66	59	57
全国	67	58	57
千葉県	66	58	57
指定都市	67	58	57
全国との比較	-1	1	0

中学校 第 3 学年	国語	数学	理科
	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)	平均 IRT スコア
千葉市	55	49	507
全国	54	48	503
千葉県	54	47	496
指定都市	55	49	508
全国との比較	1	1	4

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

※中学校理科は IRT に基づいて算出される学力スコアの数値（基準値は 500）

イ 本市の調査結果に見られる特徴

① 平均正答率

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語は 1 ポイント低く、算数は 1 ポイント高く、理科は同程度である。中学生は、国語・数学は 1 ポイント高い。理科は IRT スコアの平均が 4 高い。
- ・千葉県の平均正答率と比較すると、本市の小学生は、国語・理科は同程度、算数は 1 ポイント高い。中学生は、国語は 1 ポイント、数学は 2 ポイント高い。理科は IRT スコアの平均が 1 1 高い。

② 正答数の分布（別添概要の p 2～5）

- ・国語、算数・数学、理科いずれの教科においても、全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（一部抜粋）（別添概要の p 9～22）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

小学生→83.0%（全国83.1%より0.1ポイント低い）

中学生→65.0%（全国67.5%より2.5ポイント低い）

イ 「5年生まで(1、2年生のとき)の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる、どちらかといえばできる」

小学生→80.7%（全国81.3%より0.6ポイント低い）

ウ 「5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→79.8%（全国80.3%より0.5ポイント低い）

中学生→77.1%（全国77.7%より0.6ポイント低い）

エ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

小学生→28.6%（全国24.9%より3.7ポイント高い）

「全くしない」は5.7%（全国と同等）

中学生→35.3%（全国30.8%より4.5ポイント高い）

「全くしない」は7.7%（全国と同等）

オ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→81.0%（全国81.3%より0.3ポイント低い）

中学生→76.7%（全国75.3%より1.4ポイント高い）

4 今後の取り組み

（1）児童生徒の確かな学力の定着を図るため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。そのために以下のよう取り組みを行う。

①全国学力・学習状況調査および千葉市学力状況調査の結果を分析し、各校の児童生徒の良い点や伸ばしたい点を整理して実態を把握し、その改善に向けて学力向上アクションプランの見直しを行う。その際、以下の3点を大切にする。

・学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動

・わかった点やよく分からなかった点を見直し次の学習につなげる活動

・学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする活動

また、本市児童生徒の肯定回答割合が高いICTを活用したプレゼンテーション作成の自信へと結びつけ、より深い学びと1人1台端末の活用機会の一層の充実を図る。

②調査結果の分析と、それを踏まえた学習指導の改善・充実に向けたポイントを示した資料「結果概要と授業改善のすすめ」や、課題となった調査問題ごとに誤答例や授業改善のポイントを収録した解説動画「学力向上への取組」を各学校に配付する。それらをもとに、日々の授業の改善を図り、課題となっていた資質・能力の育成を目指す。

③主体的・対話的で深い学びの実現のために、調査問題により明らかになった各教科の課題を指導していくとともに、学び方の改善や顕著な向上が見られた学校の取り組みを全市に展開させる。

④「探究ラボ（新PC教室）の整備と活用」「ICT活用研修との連携の充実」について一層推進していく。また、家庭学習での取り組みを含め、ICT機器を活用した実践例を収集し、「Best Mix GIGA事例集」の格納数を増やす。

（2）「教育だよりちば」や教育委員会のホームページ等を通して、授業における取り組みの様子や、ICT機器を活用した学習の効果、家庭学習の大切さ等について、広く保護者に発信する。

（3）教育委員会関係各課と連携し、自己肯定感を高めるような指導方法や将来の生き方にについて考え、夢や目標を持つことができるようなキャリア教育を推進するよう学校に助言する。

①千葉市キャリア教育の基本方針「未来を拓くキャリア教育」を参考に、キャリアパスポートの活用を促進する。

②企業や各種団体、地域、家庭と連携を図りながら、職業体験学習（職場体験や出前授業等）を実施する。

問い合わせ先

【教科等の指導、今後の取り組み等に関わること】

教育委員会事務局学校教育部教育指導課 電話245-5981

【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】

教育委員会事務局学校教育部教育センター 電話285-0900